

## 予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：森林整備費

### 事業名 新規就業者等定着支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林経営課 担い手企画係 電話番号：058-272-1111(内4389)

E-mail：c11515@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,462 千円 (前年度予算額：6,975 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	6,975	0	0	0	0	0	6,975	0	0
要求額	7,462	0	0	0	0	0	7,462	0	0
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

県では「森のジョブステーションぎふ」が主体となって森林技術者の確保及び育成を行っているが、離職者も多く、このままでは第4期岐阜県森林づくり基本計画で定める森林技術者数の目標値(1,140人)を達成できない。

特に離職の防止には、森林技術者の定着に向けた効果的な施策が必要である。

森林技術者の確保・育成・定着そして安全対策を強化しなければ、林業事業体の担い手不足は解消されず、森林技術者数の目標を達成できない。

### (2) 事業内容

新規就業者等の定着支援や起業支援に対して、補助を行う。

#### ① 新規就業者定着支援

森林技術者が受講する各種講習や資格取得に必要な経費を支援する。

#### ② 労働環境等改善支援

現場作業における労働環境改善に向けた安全装備品等の購入経費を支援する。

#### ③ 起業支援

事業体の経営基盤を強化するため、起業支援金の給付、OJT研修経費を支援する。

#### ④ 森林技術者の交流会

森林技術者は日々森林の中で働いており、他の技術者と交流する機会が少なく、仕事の悩みや技術相談のできる人が限られている。また、技術の向上もその林業事業体が持つ技術レベルで頭打ちになり、作業がマンネリになりがちである。

そこで、他の林業事業体の森林技術者と交流する機会を創出し、同業種間で林業特有の悩みや技術相談のできる仲間づくりを支援し、定着を図る。

#### ⑤ 事務費（森のジョブステーションぎふ）

補助事業の要望調査や決定通知、内容確認等を行うための事務費

### （３）県負担・補助率の考え方

県10／10

第4期岐阜県森林づくり基本計画の施策の柱である森林技術者の確保・育成・定着を推進し、森林技術者数の目標値を達成するため、県が負担する。

### （４）類似事業の有無

「緑の雇用」担い手確保支援事業

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	7,462	岐阜県林業労働力確保支援センターへの補助
合計	7,462	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### （１）各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画において、森林技術者の確保・育成・定着を施策の柱に位置付けており、計画終期である令和8年度には森林技術者数を1,140人に増加させる目標を掲げている。

### （２）国・他県の状況

神奈川県を除く46都道府県で、林業労働力の確保の促進に関する法律に基づいて林業労働力確保支援センターが指定され、新規就業者等の研修を実施している。

### （３）後年度の財政負担

後年度においても、森林整備等支援基金を活用し、継続的に補助で実施

### （４）事業主体及びその妥当性

<事業主体>（公社）岐阜県森林公社（岐阜県林業労働力確保支援センター）

<妥当性> 林業労働力確保支援センターは「林業労働力の確保の促進に関する法律」において、林業労働力の確保を促進するために設置された機関であり、事業主体として適当である。

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

### (事業内容)

補助事業名	新規就業者等定着支援事業費補助金
補助事業者(団体)	(公社)岐阜県森林公社(林業労働力確保支援センター) (理由)「林業労働力の確保の促進に関する法律」において、林業労働力の確保を促進するために設置された機関であり、事業主体として適当である。
補助事業の概要	(目的)新規就業者等の定着支援や起業支援 (内容)① 新規就業者定着対策 ② 労働環境等改善支援 ③ 起業支援 ④ 森林技術者の交流会 ⑤ 事務費
補助率・補助単価等	定額   定率   その他(例:人件費相当額) (内容)①②④⑤:10/10以内 ③:定額 (理由)森林技術者の確保・育成・定着、安全対策を向上させるため、補助率等は適当
補助効果	森林技術者の確保・育成・定着、安全対策の向上
終期の設定	(終期)令和8年度 (理由)継続的に支援することが必要

### (事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

第4期岐阜県森林づくり基本計画の計画終期である令和8年度には、森林技術者数を1,140人に増加させる。

### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R2)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①森林技術者数	939	928	1,020	1,060	1,140	95%
②林業労働災害の発生件数	12.1	11.1	9.0	8.0	6.0	90%

補助金交付実績 (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
	—	—	6,190	4,954

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全講習等受講経費支援：19事業者</li> <li>新規起業者への自立支援：5事業者</li> <li>雇用安定化の支援：5事業者</li> </ul>
	指標① 目標：— 実績：939人 達成率：—
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全講習等受講経費支援：20事業者</li> <li>安全装備等購入経費支援：7事業者</li> <li>新規起業者への自立支援：8事業者</li> </ul>
	指標① 目標：— 実績：916人 達成率：—
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全講習等受講経費支援：18事業者</li> <li>安全装備等購入経費支援：9事業者</li> <li>新規起業者への自立支援：2事業者</li> </ul>
	指標① 目標：980人 実績：928人 達成率：95%

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 3	森林技術者の育成と定着に取り組まなければ、林業事業者の担い手不足を解消できず、森林技術者数の目標を達成できない。
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</li> </ul>	
(評価) 2	森林技術者数の減少に歯止めがかかり、新規就業者数は増加傾向にある。
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</li> </ul>	
(評価) 1	「森のジョブステーションぎふ」は、森林技術者の確保・育成・定着を担う県内唯一の機関であり、関係機関と連携して事業を効率的に実施している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>事業が直面する課題や改善が必要な事項                      再造林を進めるためにも、新規造林・保育専門会社への支援をさらに推進し、造林・保育事業を担う森林技術者を確保する必要がある。                      森林技術者の定着を図るため、就労環境等について相談できる体制づくり、森林技術者同士の交流機会の創出が必要。</li> </ul>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか                      第4期岐阜県森林づくり基本計画で目標とする森林技術者数を達成するため、継続して事業を実施することが必要。</li> </ul>
---